

## 団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座		団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 ( <input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) だけざわ だんしち (きくざわ かずお) 理事長 竹澤 團七 (本名 菊澤和夫)			
主たる事務所の所在地	大阪府中央区日本橋1丁目5番6号、北浦ビル1階			
設立年月	平成14年 5 月	構成員数	47名	
事業年度	4月 1日 から 3月 31日			
団体の活動目的	義太夫、三味線、人形の技芸を具体的に指導普及し人形浄瑠璃の発展をはかり、もってわが国の文化の振興に資することを目的とする。			
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 8. 文楽			
主な活動内容	教育機関や公共施設等からの依頼による文楽普及活動 文楽愛好者へ対する情報発信および啓蒙活動			
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 ①アーツサポート関西助成「そうだ、文楽に行こう！！ワンコインで文楽U-30」の開催 ②大阪市「平成28年度青少年芸術体験事業(文楽)」実施業務 ③大阪市「平成28年度文楽を特色とする地域魅力創出事業文楽ゆかりの地まちあるきイベント」企画運營業務 ④大阪市「平成28年度文楽を特色とする地域魅力創出事業子ども文楽公演等」企画運營業務 ⑤大阪府立清水谷高等学校「文楽出前事業」への講師派遣 ⑥ワークショップフェスティバル・ド・アーツ「文楽体験」への講師派遣 ⑦鹿沼市教育委員会・奈佐原文楽座への技術指導 ⑧大谷大学オープンキャンパス「文楽人形解説」への講師派遣 ⑨豊中市立伝統芸能館「文楽にふれてみよう」への出演 ⑩箕面市メイプル文化財団「シニア塾」への講師派遣 ⑪堺市立博物館・世界無形遺産シンポジウム「文楽」への出演 ⑫サイバー適塾運営協議会「日本の伝統芸能 - いわゆる三芸能の基礎知識」への出演 ⑬赤坂塾・文楽体感ワークショップ「文楽っておもしろい」への講師派遣 ⑭亜細亜大学「文楽入門講座」への出演 ⑮Kissポート財団「文楽アウトリーチ」への出演 ⑯石巻市立貞山小学校他「文楽教室」への出演 ⑰高知・窪川病院「文楽解説」への出演 ⑱長野県・飯田市「文楽教室」への出演 ⑲市立枚方宿鍵屋資料館「文楽入門」への出演 ⑳池田市文楽を広める会「わかりやすい【文楽の入門教室】」への出演 ㉑大阪市大正区役所「みんなで楽しもう！文楽」への出演 ㉒文化庁シンポジウム・オープニングアクトへの出演 ㉓箕面市西南図書館「文楽人形解説」への講師派遣 ㉔サロン・ド・ブンラクザ&観劇、文楽座学&観劇の開催			
ホームページ	有 (URL <a href="http://www.bunrakuza.com/">http://www.bunrakuza.com/</a> ) / 無			
機関紙	有 (機関紙名 文楽通信) / 無			

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎  
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

## 寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>法人運営にかかる経費に充当できる費用の捻出が大変難しいです。現状では、賛助会員の年会費、請負事業費からの管理費を計上して充当しています。会員数はここ数年は安定していますが、それは運営費を完全に確保できる人数にはまったく及んでいません。事業数は増えていきますので事業収入も増えていますが、その分事業に関わる経費も増えていきますので、運営費への充当は微増というところ。事業数が増えているので新たに事務局スタッフを雇用しましたが、人件費の負担の影響は来年度以降に現れてくるかと思われ非常に心配です。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>多くの方々に、人形浄瑠璃文楽を知ってもらい、本拠地である大阪の国立文楽劇場に足を運んでもらうことが最大の目標です。また、長年の愛好者の方々にも継続してご観劇いただけるよう、啓蒙活動にも取り組んでいきたいと思ひます。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>人形浄瑠璃文楽は、ユネスコの無形文化遺産にも登録され、世界中から注目されていますが、発祥の地である大阪を含め、日本国内では、まだまだ知られていない芸能です。我々は、日本を代表する人形浄瑠璃文楽を1人でも多くの方々に知ってもらいたい、末永くファンになってもらいたいと願ひ、普及そして啓蒙活動を続けていきたいと思ひます。</p>